

(第1号様式)

補助金交付申請書

令和4年2月〇日

(申請先)

横浜市戸塚区長

(申請者) 住所 横浜市戸塚区〇〇町××番地

団体名 〇〇の会

役職名 会長

代表者名 戸塚 花子

連絡先 045-866-8416

次の事業について、とつか区民の夢プロジェクト補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

- 事業名 防災の知識を地域に広げるプロジェクト
- 申請区分 スタートアップコース
 ジャンプアップコース
- 補助金交付申請額 ¥ 140,800.-
- 過去の補助金交付回数 スタートアップコース 0回 ジャンプアップコース 0回
- 添付書類
 - 事業計画書 (第2号様式)
 - 事業予算書 (第3号様式)
 - 団体概要書 (第4号様式)
 - 団体の規約、定款その他これに類する書類
 - 団体構成員名簿 (第5号様式)
 - 今年度団体事業計画書 (第6号様式)
 - 今年度団体事業予算書 (第7号様式)

事業計画書

事業名	防災の知識を地域に広げるプロジェクト
事業分野	<input type="checkbox"/> 文化・芸術 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> 国際交流 <input type="checkbox"/> 環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (防災)
事業目的	地域において災害時の活動を円滑に行えるよう、防災の知識を地域に広める。
事業概要	【実施時期】 令和4年 4月 1日 ~ 令和5年 3月 31日 (実施回数年8回程度)
	【実施場所】 戸塚区内の自治会、町内会、マンション管理組合 等
	【事業の対象者及び人数 (スタッフ除く)】 戸塚区民 約200人
	【事業内容 (事業の具体的な内容及び実施スケジュール)】 <ul style="list-style-type: none">・ 会員のための防災講習会受講 防災知識を学ぶ。(4月、10月 年2回) 場所：社会福祉協議会 (予定)・ 各地域で、防災講習会を開催する。 (6月、7月 計2回) 場所：〇〇地区センター・ 地域の自治会、町内会、マンション管理組合にて防災講習を開催する。 (8月、12月、3月 計6回) 8月：〇〇自治会館、〇〇町内会館 12月：〇〇マンション内集会所、△△マンション内集会所 3月：△△自治会館、△△町内会館 ※ 実際の開催日程は先方と調整するため未定
事業の必要性	【どのような点で地域の魅力づくりや地域課題の解決に繋がるか記入してください】 <p>昨今、台風や地震などの自然災害が増加する中、区民が災害の知識を持ち、区民一人ひとりが災害に対する備えをすることで、災害時の被害を最小限に抑える事に繋がります。</p> <p>また、地域での防災意識を共有することで、住民同士が日頃から横のつながりを持ち、緊急時の声掛け効果も期待します。</p>

(第2号様式-2)

事業の継続・将来性	<p>【申請事業の自立に向けた計画や見通しについて記入してください】</p> <p>2～3年で活動の場を広げ、できるだけ多くの地域で、区民がスムーズに災害時の活動ができるように誘導します。</p> <p>当初は、外部講師を依頼するため講師料が必要となりますが、将来的には全会員が防災の知識を得ることで、会員自らが地域をまわり講習会を開催します。</p> <p>また、講習会の開催と同時に、企業との協働で災害グッズの展示会や販売を行うなど、財源の確保を図っていきます。</p>
過去の本補助金交付回数が1回以上ある場合には以下を記入してください	
過去に実施した事業の成果	<p>【前回申請事業の実施内容・成果について記入してください】</p>
事業の発展性	<p>【今年度どのように拡大・充実を図るか記入してください】</p>

(第3号様式)

事業予算書

【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠の説明 (内訳等)
区補助金	140,800	@176,000(補助対象経費)×4/5
会費	45,000	
事業収入	16,200	講習謝金、防災グッズ販売
寄付(協賛金)	20,000	協賛企業(2社)
合計	222,000	

【支出】

(単位：円)

項目	金額		積算根拠の説明 (内訳等)
		うち補助対象経費	
謝金	120,000	80,000	講習講師@20,000×2回 @10,000×8回(補助対象)
食糧費	10,000	8,000	講師昼食@1,000×2回 @1,000×8回(補助対象)
使用・賃借料	8,000	4,000	会議室 @2,000×2回 @2,000×2回(補助対象)
印刷費	10,000	10,000	講習会資料、広告用チラシ
保険料	6,000	6,000	講習会イベント保険
消耗品費	5,000	5,000	講習会用文具
通信費	5,000	5,000	ちらし等郵送費
設営・運搬費	50,000	50,000	機材レンタル(Zoom用タブレット)
交通費	8,000	8,000	@500×2人×8回
合計	222,000	176,000	

※ 予算の対象は補助金申請事業に係るすべての経費とします。

事務局使用欄

補助対象経費		補助対象経費に対する 補助金額の割合	
--------	--	-----------------------	--

団体概要書

団体名	〇〇の会		
代表者	氏名 戸塚 花子 (会長)		
団体連絡先	氏名 地域 太郎		
	住所 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17		
	電話 045-866-8416	FAX 045-864-1933	
	Eメール to-chishin@city.yokohama.jp		
設立年月日	(和暦) 令和 2 年 2 月 1 日 (活動年数 2 年 0 か月) ※申請時点		
会員数	10 人 (男性 5 人 女性 5 人)		
	うち区内在住・在勤・在学 人		
	年代 40 歳代～	80 歳代	
会費	月額・年額 4,500 円	(入会金 なし 円)	
設立目的	<p>私たちの街は、近年想定外の自然災害が増加しています。 台風、地震などの災害時、被害を最小限に抑えるためには、区民一人ひとりが防災に関する知識を持ち、非常時に生かすことが大切です。 そこで、「区民の災害に関する知識の向上と、非常時の対処法の学びあい」を目的に会を結成しました。</p>		
活動地域	戸塚区全域		
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none">地域の自治会、町内会、マンション管理組合などでの防災講習 令和3年 8月：〇〇自治会館 12月：〇〇マンション内集会所 令和4年 1月：△△町内会館		
備考			

※ 団体の規約、定款その他これに類する書類を添付してください。

(第5号様式)

団体構成員名簿

役職名	氏名	住所	区内 在勤 在学
会長	戸塚 花子	戸塚区戸塚町 16-17	
副会長	地域 太郎	戸塚区〇〇町	
会計	区民 二郎	戸塚区〇〇町	
監事	横浜 三郎	戸塚区〇〇町	
	神奈川 春子	藤沢市〇町	○
	保土ヶ谷 夏子	逗子市〇〇	
	瀬谷 四郎	戸塚区〇〇町	
	青葉 秋子	神奈川区〇〇町	○
	西 五郎	戸塚区〇〇町	
	泉 冬子	瀬谷区〇〇町	○

- ※1 上記の項目を満たす場合、既存名簿の代用を可とします。
- ※2 区外在住者で、区内に在勤又は在学している人は、「区内在勤在学」欄に○を記入してください。
- ※3 団体が5名以上で構成され、その半数以上が区内在住・在勤・在学であることが補助対象の条件です。
- ※4 代表以外の構成員の住所は、町名までの記載で結構です。
- ※5 この様式により収集した個人情報は、当該団体の承諾がある場合を除き、当該事務を処理する目的以外に利用いたしません。

今年度団体事業計画書

【今年度の事業計画】

会員のための防災講習会（2回/年）

場所：社会福祉協議会（予定）

夏休み、冬休み、春休みに防災講座計8回

・各地域での講習会を企画する。

（6月、7月 計2回）

場所：〇〇地区センター

・地域の自治会、町内会、マンション管理組合にて防災講習を開催する。

（8月、12月、3月 計6回）

8月：〇〇自治会館、〇〇町内会館

12月：〇〇マンション内集会所、△△マンション内集会所

1月：△△自治会館、△△町内会館

その他の活動

・PRパンフレット作製

・区民まつり、〇〇町内会イベント、△△自治会お祭りに参加し防災PR活動

※1 今年度の事業全体の計画（補助金の交付を申請する事業以外を含む）を具体的に記載してください。

※2 上記項目を満たす場合、既存書類の代用を可とします。

今年度団体事業予算書

【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠の説明 (内 訳 等)
区補助金	140,800	
会費	45,000	
事業収入	88,200	グッズ販売、講習謝金
寄付(協賛金)	20,000	協賛企業(2社)
合 計	294,000	

【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠の説明 (内 訳 等)
謝金	120,000	講習講師依頼@20,000×2回 @10,000×8回
食糧費	10,000	講師お昼代 @1,000×10回
使用・賃借料	8,000	会議室賃料 @2,000×4回
印刷費	10,000	講習会資料、広告用チラシ
保険料	6,000	講習会イベント保険
消耗品費	5,000	講習会用文具(サインペン、附箋、ホワイトボード用マジック)
通信費	5,000	ちらし等郵送費
設営・運搬費	50,000	機材レンタル(Zoom用タブレット)
交通費	10,000	@500×2人×10回
その他	50,000	避難所ゲーム購入@10,000×5セット
備品	20,000	プロジェクター購入
合 計	294,000	

※1 今年度の事業全体の予算(補助金の交付を申請する事業以外を含む)を記載してください。

※2 上記項目を満たす場合、既存書類の代用を可とします。

〇〇の会 規約

(名称)

第1条 この会は、〇〇の会（以下「本会」という。）と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、戸塚区〇〇町××番地に置く。

(目的)

第3条 本会は、「区民の災害に関する知識の向上と、非常時の対処法の学びあい」を目的とし、令和2年2月1日設立する。

(活動内容)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 会員の災害に関する知識向上のための講習会の開催
- (2) 地域における防災講習会の開催
- (3) 地域における災害に関する知識向上のためのPR活動
- (4) その他、目的達成に必要な活動

(会員)

第5条 本会の会員は、本会の目的に賛同して入会した者とする。

(入会)

第6条 会員の入会については、特に条件を定めない。

2 会員として入会しようとするものは、入会申込書により、会長に申し込むものとする。

(会費)

第7条 会員は、会費として、年額4,500円を納入しなければならない。

(退会)

第8条 会員は、退会届を会長に提出し任意に退会することができる。

2 会員が、次の号のいずれかに該当するときは、退会したものとみなす。

- (1) 本人は死亡したとき
- (2) 会費を2年以上納入しないとき

(役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 1人
- (3) 会計 1人
- (4) 監事 1人

(選任)

第10条 役員は総会において、会員の中から選任する。

2 監事は会長、副会長及び会計を兼ねることはできない。

(職務)

第11条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 会計は、本会の会計を担当する。

4 監事は、会の活動及び会計を監査する。

(任期)

第12条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第13条 本会の総会は、年に1回開催するものとする。ただし、必要があるときは臨時に開催できるものとする。

2 総会は、以下の事項について議決する。

(1) 会則の変更

(2) 解散

(3) 報告および決算

(4) 計画および予算

(5) 役員の選任又は解任

(6) その他会の運営に関する重要事項

3 総会は、会員の過半数の出席がなければ、開会することができない。

附則

1 この規約は、令和2年2月1日から施行する。